## 2025 年度

## 海外帰国生 入学試験 算 数

## 注意

- 1. 試験開始の合図があるまで、この冊子の中を見てはいけません。
- 2. 放送の指示にしたがって、問題冊子に受験番号・氏名を記入します。 次に、解答用紙の指定された場所にQRコードシールをはり、受験 番号・氏名を記入します。
- 3. 試験時間は45分です。
- 4. 問題は、1ページから6ページまで印刷してあります。試験が始まったら最初に確認し、足りないページがあったら申し出てください。
- 5. 答えはすべて解答用紙に記入してください。
- 6. 試験が終わった後、問題冊子・解答用紙とも回収します。
- 1. 問題用紙の余白に計算をしてもかまいません。
- 2. 円周率は 3.14 とします。
- 3. 特に指定がない場合は、分数の答えは約分すること。

## 共立女子中学校

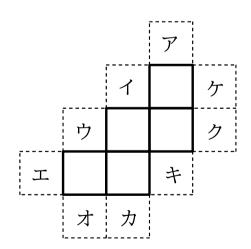
受 験 番 号	氏	名
K		

- 1 次の各問いに答えなさい。

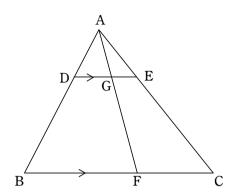
- 2 次の各問いに答えなさい。

② 1, 1, 2, 2, 3の5枚のカードがあり、これらのカードのうち3枚をえらび、 それらを並べて3桁の整数を作ります。3桁の整数は何通りできますか。 ③ 12 %の食塩水 120 g と 7 %の食塩水を混ぜたら, 9 %の食塩水ができました。混ぜた 7 %の食塩水は何 g ですか。

④ 下の図の実線は、立方体の展開図の一部です。この図に正方形を1つ加えて、展開図を完成させるには、図の点線で示されたどの位置に正方形を加えればよいですか。アーケの中から すべて 選び、記号で答えなさい。



③ 下の図のような、三角形 ABC があり、点 D は辺 AB を 1:2 に分ける点、点 F は辺 BC を 3:2 に分ける点です。また、 DE と AF の交わる点を G とします。ただし、印の ついた辺は平行です。後の各間いに答えなさい。



- ① BFの長さが3cmのとき、DGの長さは何cmですか。
- ② BFとGEの長さの比を、最も簡単な整数の比で答えなさい。
- ③ 三角形 AGE の面積が  $2 \text{ cm}^2$  のとき,三角形 ABF の面積は何  $\text{cm}^2$  ですか。
- ④ 三角形 ABC と四角形 CEGF の面積の比を、最も簡単な整数の比で答えなさい。

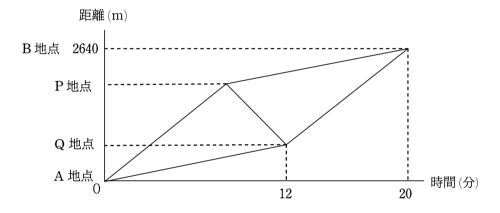
- [4] [A]は1以上の整数 A の約数の個数を表すものとします。例えば, 6 の約数は 1, 2, 3, 6 なので, [6]=4 です。次の各問いに答えなさい。
  - ① [2025]を求めなさい。

②  $[10] \times$  = [24] の にあてはまる数を求めなさい。

③ [ ]  $\times$  5 = [ 48 ] の にあてはまる整数の中で、5番目に小さい整数はいくつですか。途中の考え方も書いて答えなさい。

5 共子さん、立子さんとお父さんが A 地点から2640 m 離れている B 地点へ移動することになりましたが、1台の2人乗り自転車しかありませんでした。そこで、お父さんが共子さんを自転車の後ろに乗せて、立子さんは徒歩で 同時にA 地点を出発しました。お父さんは途中の P 地点で共子さんを降ろし、引き返して Q 地点で歩いてきた立子さんを乗せて、再び B 地点に向かいました。お父さんと立子さんは、P 地点から徒歩で向かった共子さんと同時に B 地点に着きました。

共子さんと立子さんの歩く速さは同じです。また、2人乗り自転車の速さは2人で乗っているときは毎分240mで走り、お父さんが1人で乗っているときは2人で乗っているときよりも少し速く走れます。下の図は、3人がA地点を出発してからB地点に到着するまでの時間と、A地点からの距離の関係を表したものです。後の各問いに答えなさい。ただし、自転車の乗り降りにかかる時間は考えないものとします。



- ① 共子さんと立子さんの歩く速さは毎分何 m ですか。
- ② 自転車が移動した道のりは全部で何 m ですか。
- ③ P地点から Q 地点まで引き返しているときの自転車の速さは毎分何 m ですか。

生徒: 先生, 三角形のかたちに数が並んでいますね。

先生:そうですね。これはパスカルの三角形と呼ばれていて、色々な性質があるんで す。どんなルールで数が並んでいるかわかりますか?

生徒: うーん、 両端の数は全部 1 ですね。あ、 15=10+5 のように、3 段目以降の両端以外の数は、その左上と右上にある数の和になっていますね。

先生:すばらしい! では、このパスカルの三角形の続きを考えると8段目の左から 5番目はいくつでしょう。

生徒: あ になります。

先生:その通りです。パスカルの三角形には他にもいろいろな性質があります。 各段の数の和は1段目から、1、1+1=2、1+2+1=4、1+3+3+1=8、…… となっています。この性質を使うと 11 段目の和は いくつになりますか?

生徒: えーと, 2 を い 回かけた数だから, う ですね。

先生:正解です。さらに、3段目以降の各段の左から3番目の数に注目するとある 規則があります。何かわかりますか? 下の段に進むにつれて、どのように 増えていますか?

生徒:うーん、1、3=1+2、6=1+2+3、10=1+2+3+4、…… というように 増えていっています。

先生:そうです。このような数を三角数といいます。この考え方によれば、102 段目の 左から3番目の数はいくつですか。

生徒:1から え までの和になるので、…… お です。

先生:正解です。すばらしい!